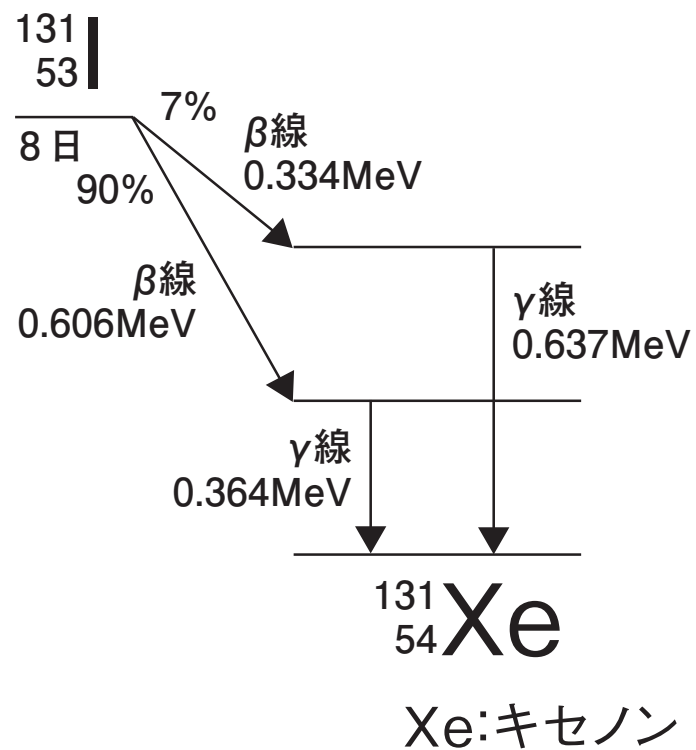
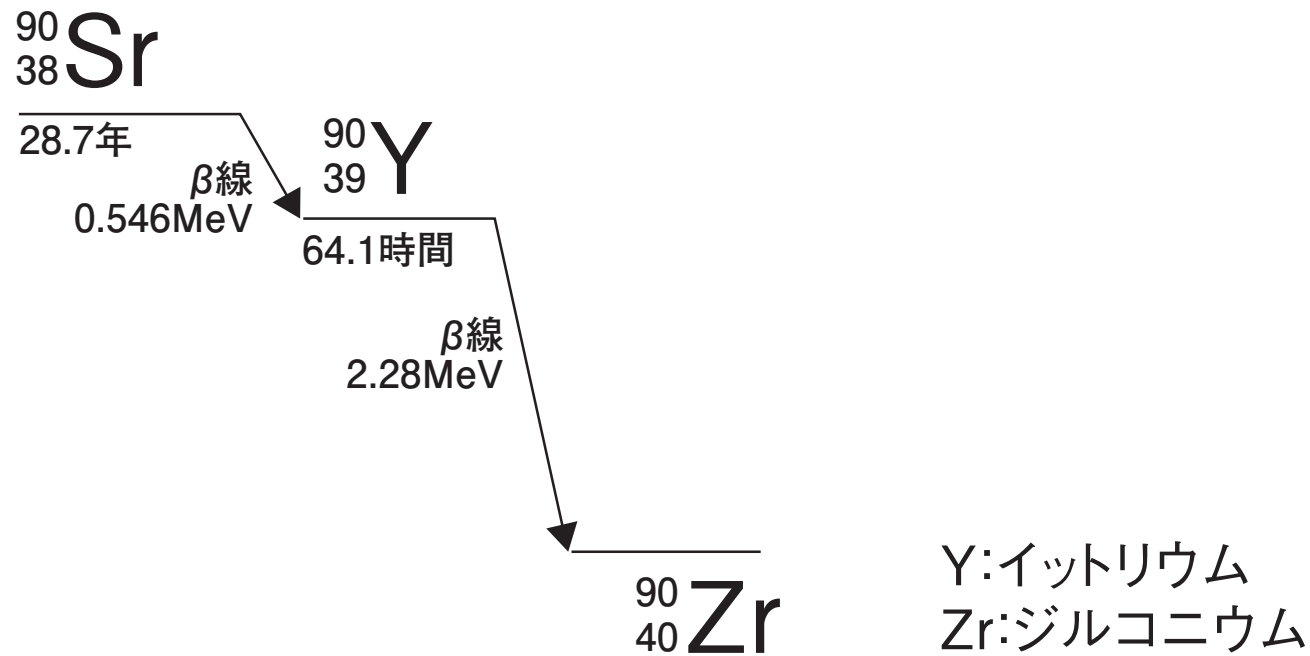


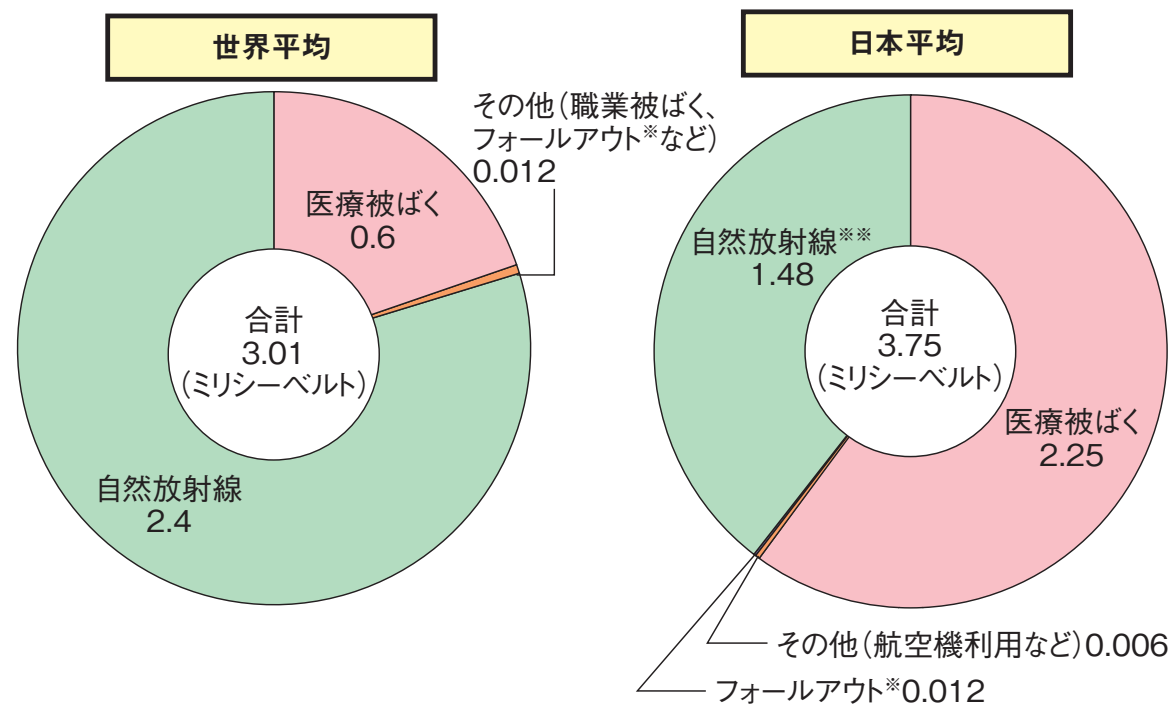
《ヨウ素(I) 131 の壊変(崩壊)》



《ストロンチウム(Sr)90 の壊変(崩壊)》



《自然及び人工放射線源から受ける一人当たり年間線量》



※フォールアウト:核実験による放射性降下物のこと

※※2005年に日本分析センターから2.2ミリシーベルトという数値が公表されている。

出典:原子放射線の影響に関する国連科学委員会 (UNSCEAR) 2008年報告、
(財)原子力安全研究協会「生活環境放射線」(1992年)

《ベッド式ホールボディカウンタ》



(掲載ページ：教師用解説書P.12)
写真提供・協力：富士電機(株)

《放射線加重係数》

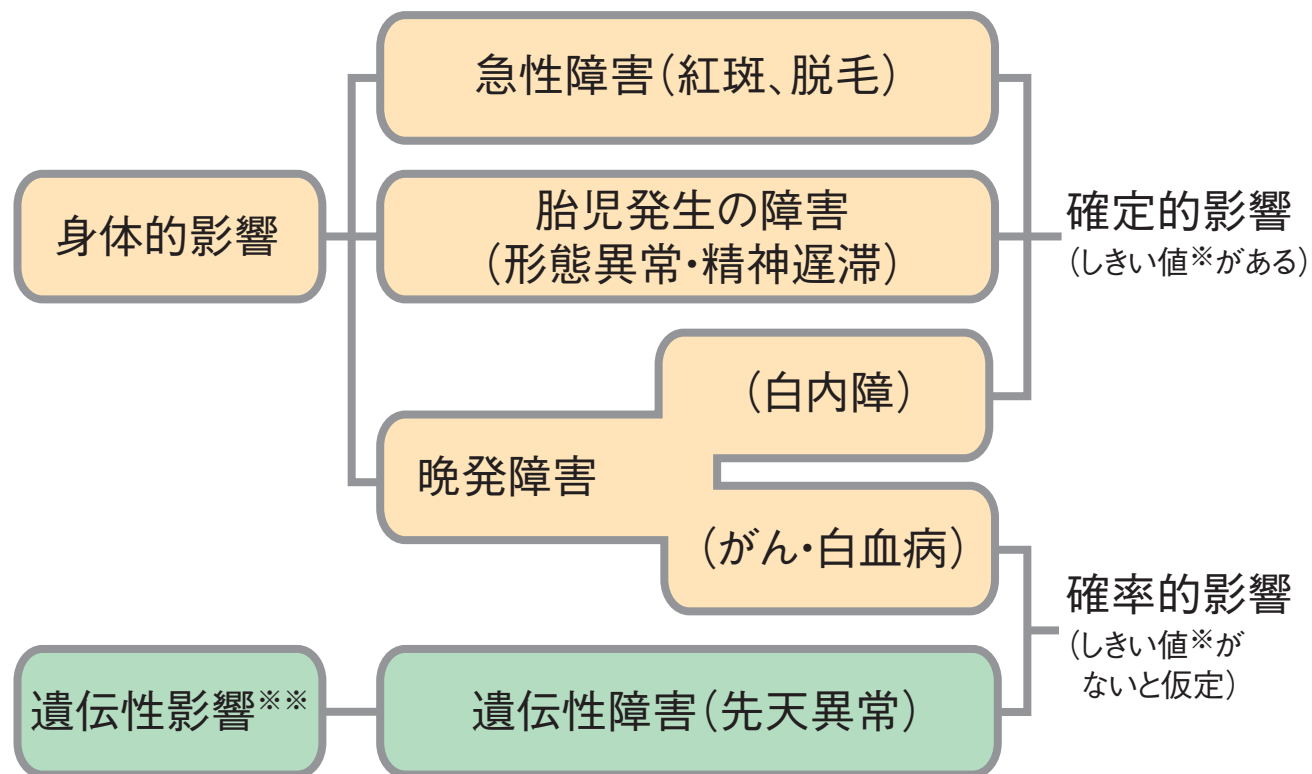
放射線の種類	放射線加重係数
光子(ガンマ線、エックス線)	1
電子(ベータ線)	1
陽子	2
アルファ粒子、核分裂片、重い原子核	20
中性子線	2.5~20

《組織加重係数》

組織・臓器	組織加重係数	組織・臓器	組織加重係数
赤色骨髄	0.12	食道	0.04
結腸	0.12	甲状腺	0.04
肺	0.12	唾液腺	0.01
胃	0.12	皮膚	0.01
乳房	0.12	骨表面	0.01
生殖腺	0.08	脳	0.01
膀胱	0.04	残りの 組織・臓器	0.12
肝臓	0.04		

出典：ICRP Publication 103, 2007

《放射線被ばく影響》



※しきい値:ある作用が反応を起こすか起こさないかの境の値のこと
※※遺伝性影響 (hereditary effects)とは、子孫に伝わる遺伝的な影響のことで、遺伝的影響 (genetic effects)が細胞の遺伝的な影響までを含むことと区別している。